

製造業における CSIRT/PSIRT/FSIRTの組織形態に応じた構築手法

Starting guide of CSIRT/PSIRT/FSIRT in manufacturing industry according to organization structure

福井雄也・マネジメント分科会・情報セキュリティ大学院大学

課題と成果

製造業でセキュリティ対応組織の重要性が高まっている。
既存の構築ガイド資料において、

- ・課題1 CSIRT/PSIRT/FSIRTが担う機能と組織部門の関係がわからない
そもそも、製造業で必要となるFSIRTが担う機能について述べられていない
- ・課題2 CSIRT/PSIRT/FSIRTが担う機能毎に組織部門間の時系列の流れについてわからないため、組織立上げ時、訓練などでインシデント時の動きなどが時系列で理解できない
- ・課題3 1社単独かグループ会社など複数社で形成するのか、事業所の数などの企業形態を考慮できていないため、工場などの拠点がある場合に対応できない
- ・課題4 CSIRT/PSIRT/FSIRTの役割の機能で共通化できる箇所を判断し、組織全体で効率化の図り方がわからないため、コストを抑え方がわからない

製造業でセキュリティ対応組織の新たな構築ガイド資料として提案

- ・CSIRT/PSIRT/FSIRTが担う機能について、製造業の組織部門で機能を主に担う部門、協力する部門の関係性を示したガイド資料
- ・CSIRT/PSIRT/FSIRTのインシデント事例に基づいて、インシデント時の部門間の動きなどが理解でき、組織立上げ時、訓練等に利用できるガイド資料

機能と組織部門の関係の分析

製造業で想定される部門に対して、セキュリティ対応組織（CSIRT/ PSIRT/FSIRT）の機能と部門との関係の分析を行った。これらの成果を構築時の新たなガイド資料として提案

